

放射線科

部長 細田 幸司

人事

放射線診断専門医の常勤 3 人で変化ありません。遠隔読影も含めパート医の協力を借りていますが、勤務(IVR, US, 消化管造影、CT/MRI 読影(画像管理加算 3 取得)に余力はありません。専修医の勧誘をしていきたいと考えています。他科からの研修(読影/IVR)も検討しています。

初期臨床研修医のローテーションは延べ 16 名(内協力型 2 名)と常時 1-2 名が在籍するのは変わらず、1 名は 2 回目の研修を希望されました。

学外実習では、計 9 名(高知大 5 名・群馬大 4 名)が当科を選択されました。

ハードウェア

2025 年のハードウェア変更は以下の通りです。

【更新】

- ・ 5 月 7 日 骨密度測定装置更新(後継機種、富士フィルム ALPHYS LF へ)
- ・ 10 月 20 日 デジタル式歯科用パノラマ装置更新
(朝日レントゲン、アナログからデジタル(フラットパネル)へ)
- ・ 11 月 3 日 外来センター一般フラットパネル更新
(キャノンフラットパネル 8 枚と 2 室の立位・臥位撮影台の更新)
- ・ 11 月 5 日 オルソ病院へ一般撮影システム移設
(外来センターで使用していたシステムをオルソ病院へ移設)

【故障(管球交換)】

- ・ 4 月 28 日 本館 1 階 5 番 CT の小焦点フィラメントが切れて管球交換実施
- ・ 10 月 6 日 本館 3 階 B2 室フロント側、スターターエラーが出て管球交換実施

IVR-CT 現状

- ① 2025 年 8 月 15 日 血管造影装置正面側の極小焦点切れ
- ② 2025 年 11 月 11 日 操作コンソールタッチパネルの落下により交換
- ③ 2026 年 1 月 1 日 血管造影装置正面側 PC 故障にて交換

2026 年は MRI 1.5T が GE の後継機に更新される予定です。

11 年を経過した IVR-CT(バイプレーン)の故障が多く保守も切れるため更新が必要な状況です。

検査件数

CT 件数は微増です。ここ 5 年ほどで件数にあまり変化ありませんが、心電図同期 CT が 1300 件ほどと多く(全 CT 検査 24000 件中)、5 年間で 2 倍になっています。同期 CT は撮像も画像再構成も時間が必要で、技師と放射線科医の負担が増えています。(機器の進歩もあり撮像および画像処理はやや早くなっています)

MRI はこの 5 年横ばいです。外来 MRI の更新があり、その間には本館 3T の 1 台体制となりますが、AI 再構成ソフトも用いて検査効率を上げて対処する予定です。

US の件数は昨年と同程度です。乳腺検査が増えていますが慣れてきました。

消化管造影は横ばい。注腸のかかなりの部分を CT colonography で代替しています。

IVR

血管系・非血管系とも前年よりさらに増加し、1000件弱となっています。ここ10年で継続的に増加しており、10年前と比較すると2倍になっています。2人で1000件近くを施行しています。PICCは研修医の指導を含め特定看護師への移行が進んでおり、助かっています。

2026年の展望

これ以上の業務効率化は困難であり、人材の確保が最重要課題です。

研修医・学生の受け入れは負担ではありますが受け入れを継続していく予定です。

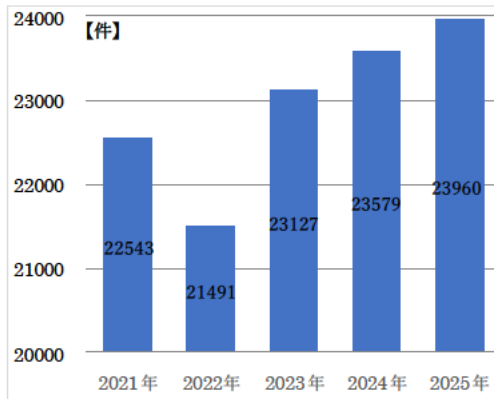


図1 CT検査件数（過去5年間）

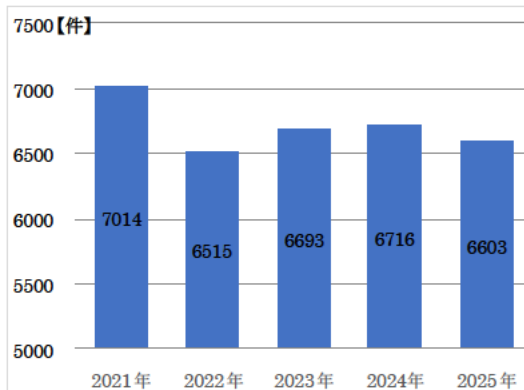


図2 MRI件数（過去5年間）

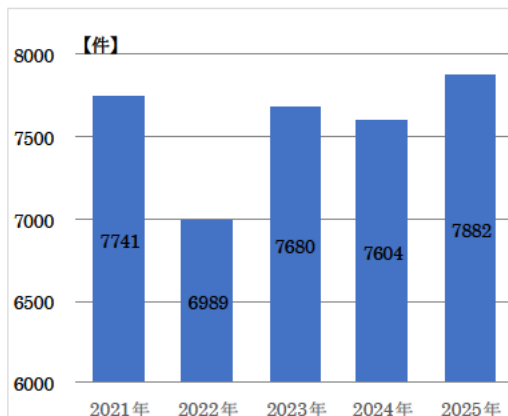


図3 US検査件数（過去5年間）

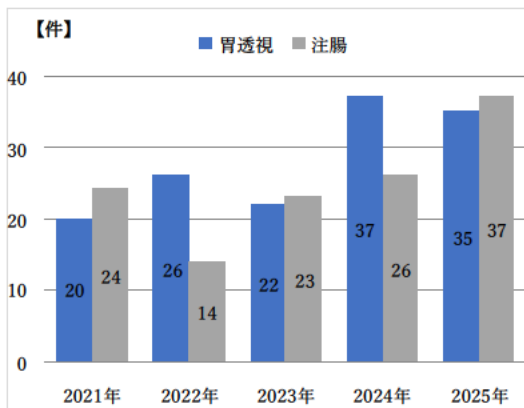


図4 消化管造影件数（過去5年間）

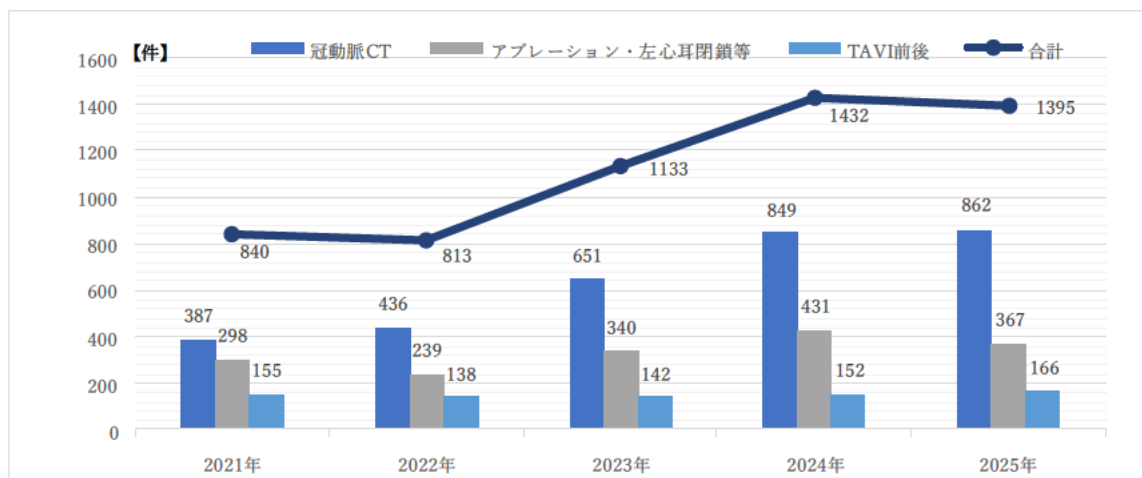


図5 心電図同期CT検査件数（過去5年間）

IVR 実施手技件数（過去 5 年間）

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
US	7741	6989	7680	7604	7882
胃透視	20	26	22	37	35
注腸	24	14	23	26	37
ドレナージ総計	160	149	187	216	280
PTGBD	53	43	57	59	57
PTCD	5	11	11	19	15
膿瘍ドレナージ(US下)	47	57	74	81	82
膿瘍ドレナージ(CT下)	35	28	22	32	37
その他	20	10	23	25	89
US下生検	7	7	10	10	7
CT下生検	13	13	13	9	8
胆管ステント	2	2	0	1	1
胆道その他	0	0	1	0	0
VATSマーカー	0	0	0	0	0
肺RFA	0	0	0	0	0
非血管系IVR総計	182	171	211	236	296
血管造影のみ	32	17	17	19	27
TAE(HCC)	48	53	43	56	49
TAI (HCC)	0	1	0	6	0
PSE	0	4	3	9	6
外傷・止血TAE	56	49	51	64	41
動脈瘤TAE				6	5
その他TAE（術前など）	11	6	7	4	5
膵炎動注療法	3	2	0		
パパペリン動注療法（NOMI）	5	9	9	5	3
その他IVR	16	15	17	26	10
末梢血管系IVR	0	0	5	4	0
CAS	0	0	1	0	0
ステントグラフト	27	17	26	21	32
その他ステント	2	0	0	0	0
B-RTO	5	1	4	4	3
PTS				2	3
PTPE				2	2
IVC filter	2	0	0	0	0
CVポート	76	59	69	75	86
PICC	183	154	208	211	310
シャントIVR	145	124	133	130	134
血管系IVR総計	579	494	576	625	689

学術発表・講演会等

学会・研究会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
セイラムサンプチューブによるドレナージ；経皮的な一期的挿入、ドレーン管理、洗浄方法について	細田 幸司 清水 和人	第 54 回日本 IVR 学会総会	2025/5/29- 5/31 東京
内腸骨動脈瘤塞栓に対するコイルインプラグ・グルーインプラグの経験	細田 幸司 清水 和人	第 38 回中国四国 IVR 研究会	2025/10/31- 11/1 岡山
心・血管・脈管	田所 導子	第 13 回放射線レジデントセミナー	Web

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Intraperitoneal hemorrhage due to accessory spleen torsion	Koji Hosoda Michiko Tadokoro Kazuto Shimizu Nobuhiro Miyazaki	Radiology Case report.	Vol. 20 P903-908
特集 読影のお作法-連続画像スライスで追う胸部疾患の診断-【心大血管の疾患】冠動脈疾患	田所 導子	臨床画像	Vol. 41 No. 7 P780-789